

本調査研究は、モーターボート競走公益  
資金による財団法人日本船舶振興会の補助金を  
受けて実施したものです。

離島における民生の安定向上をはかるための  
海上輸送体系の整備に関する研究  
(中間報告)

昭和61年 3 月

財団法人 九州海運振興センター

## (お願い)

「離島における民生の安定向上をはかるための海上輸送体系の整備に関する研究」  
 (中間報告)に誤りがありましたので、お手数ですが御訂正願います。

## 正 誤 表

| 頁   | 行(図、表)         | 誤                     | 正   | 備 考     |
|-----|----------------|-----------------------|---|---------|
| 目次  | 第Ⅶ章            | 類似離島における航(空)路サービス等の比較 | 類似離島における航(空)路サービス水準等の比較   | 水準を入れる  |
| 46  | 表Ⅱ-1-2         |                       | (注) 1.本土-対馬:小倉-対馬、博多-対馬の合計<br>2.本土-壱岐:博多-壱岐、印通寺-呼子の合計<br>(資料):九州運輸局調べ | 表の下に入れる |
| 53  | 図Ⅱ-1-4         |                       | (注) ( )はジェット機料金   | 図の下に入れる |
| 54  | 5行目            | 72%                   | 67%   |         |
| 〃   | 6行目            | 3倍近く                  | 2倍強   |         |
| 142 | 図Ⅴ-3-4<br>図中   | 対馬 鉄道3.2(64)          | 鉄道 0.0  |         |
| 144 | 3行目            | 対馬各町と長崎の              | 対馬各町と長崎市の   |         |
| 150 | 図Ⅴ-3-18<br>図中  | 壱岐 鉄道1.1(-)           | 鉄道 0.0  |         |
| 167 | 図Ⅵ-3-1<br>〔下り〕 | 表側 長崎県                | 長崎市   |         |
| 175 | 第Ⅶ章<br>表題      | 類似離島における航(空)路サービス等の比較 | 類似離島における航(空)路サービス水準等の比較   | 水準を入れる  |
| 183 | 10行目           | ろう。                   | う。  | ろをトル    |
| 185 | 7行目            | 既存資料にする               | 既存資料による   |         |
| 〃   | 8行目            | 必要がある。                | 必要があろう。   |         |

## は し が き

本報告書は、当センターが（財）日本船舶振興会の昭和60年度～昭和61年度補助事業として実施を計画した「離島における民生の安定向上をはかるための海上輸送体系の整備に関する研究」の昭和60年度研究成果を、中間報告の形でとりまとめたものである。

九州周辺には、約 140にもものぼる離島が点在している。そこには、約75万人もの人々が生活を営んでおり、また、業務や観光で離島を訪れる人も多く、このような離島にあって、本土あるいは離島相互間の連絡、さらには離島への生活物資の補給等に海上輸送の果たす役割はきわめて大きいものがあるといえる。

現在、九州周辺には約 120の離島航路があり、離島住民等の輸送にあたっているほか、多くの内航船が貨物輸送にたずさわっているが、いま、このような離島航路は、過疎化の進行に加えて、航空輸送網の整備の進展等のため旅客輸送が伸び悩むなど経営状況が悪化するなかで、航路サービスの改善のための特段の努力を要請されている。

このような状況のもとで、離島における海上交通体系のあり方を検討するため、当センターでは主要な離島を対象として調査研究を進めてきており、これまでに実施した長崎県の五島列島（下五島地区）、鹿児島県の甕島及び同県種子島・屋久島について、今回は長崎県の杵岐・対馬を対象として調査研究を行うこととした。

本年度は主として、当該離島における海上輸送体系の現状及び問題点を把握するため、航路利用者に対する実態調査、貨物流動調査等を実施したが、次年度は、本年度調査結果を踏まえ、さらに新たな調査を実施し、離島海上輸送体系の整備のあり方について検討を加えることとしている。

最後に、本調査研究に際して終始ご指導、ご協力を賜った委員各位、関係官庁並びに関係業界の方々に、改めて謝意を表する次第である。

昭和61年 3 月

財団法人九州海運振興センター

会 長 邑 本 義 一

「離島における民生の安定向上をはかるための

海上輸送体系の整備に関する研究」

委 員 名 簿

(順不同 敬称略)

|      |           |                    |
|------|-----------|--------------------|
| 委員長  | 河 地 貫 一   | 長崎総合科学大学教授         |
| 委員   | 増 子 泰 規   | 大阪航空局福岡空港事務所空港長    |
| ”    | 永 留 剛     | 長崎県企画理事付企画主幹       |
|      | (苑 田 廣 正) |                    |
| ”    | 坂 口 博     | 福岡市港湾局総務部長         |
| ”    | 松 村 文 甫   | 福岡地区旅客船協会会長        |
| ”    | 松 尾 勝     | 九州旅客船協会連合会専務理事     |
| ”    | 上 子 道 雄   | 九州運輸局企画部長          |
|      | (千 原 伸 夫) |                    |
| ”    | 塚 田 俊 三   | 九州運輸局運航部長          |
| 幹 事  | 藤 原 齊     | 九州運輸局福岡海運支局長       |
|      | (岡 田 和 彦) |                    |
| ”    | 黒 木 雅 也   | 九州運輸局運航部輸送課長       |
|      | (藤 原 齊)   |                    |
| ”    | 平 下 政 俊   | 九州運輸局企画部貨物流通企画課長   |
| 事務局  | 澤 永 鎮 康   | 九州運輸局運航部輸送課補佐官     |
| ”    | 赤 間 啓 一   | 九州運輸局企画部貨物流通企画課補佐官 |
| ”    | 河 内 博 志   | 九州運輸局企画部貨物流通企画課    |
|      |           | 流通企画第一係長           |
| ”    | 弘 中 吉 昭   | (財)九州海運振興センター調査役   |
| 集計解析 | 木 下 啓     | ㈱日本統計センター データベース課長 |

※ ( ) は前任者

# 目 次

|                  |    |
|------------------|----|
| 第Ⅰ章 調査の概要        | 1  |
| 1. 調査の目的         | 3  |
| 2. 調査の対象地域       | 3  |
| 3. 調査の体系         | 3  |
| 第Ⅱ章 壱岐・対馬の概況     | 5  |
| 1. 沿 革           | 7  |
| 2. 人口の動向         | 11 |
| 3. 産 業           | 16 |
| (1) 産業構造         | 16 |
| (2) 農林水産業        | 18 |
| (ア) 農 業          | 18 |
| (イ) 林 業          | 20 |
| (ウ) 水産業          | 22 |
| (3) 工 業          | 24 |
| (4) 商 業          | 26 |
| (5) 観 光          | 28 |
| 4. 行政機関          | 33 |
| 5. 民 生           | 34 |
| (1) 物 価          | 34 |
| (2) 日常生活上の不便・不満点 | 36 |
| (3) 医療施設         | 38 |
| 第Ⅲ章 交通の現況        | 39 |
| 1. 本土-壱岐・対馬間交通   | 41 |
| (1) 海上交通         | 41 |
| ① 定期航路           | 41 |
| (ア) 運航状況         | 42 |
| (イ) 航路別輸送量の推移    | 45 |



|                      |     |
|----------------------|-----|
| ② 内航海運 .....         | 51  |
| (2) 航 空 .....        | 52  |
| 2. 域内交通 .....        | 56  |
| (1) 海上交通 .....       | 56  |
| (2) 航 空 .....        | 58  |
| (3) 陸上交通 .....       | 58  |
| 3. 港 湾 .....         | 62  |
| (1) 概 況 .....        | 62  |
| (2) 港湾施設の整備状況 .....  | 63  |
| (3) 港湾別船舶入港状況 .....  | 68  |
| (4) 港湾貨物取扱実績 .....   | 68  |
| 4. 空 港 .....         | 75  |
| <br>                 |     |
| 第IV章 航路利用者調査 .....   | 77  |
| 1. 調査概要 .....        | 79  |
| 2. 利用者の性別等 .....     | 80  |
| 3. 航路別利用状況 .....     | 82  |
| (1) 小倉－対馬航路 .....    | 82  |
| (2) 博多－壱岐－対馬航路 ..... | 95  |
| (3) 博多－対馬航路 .....    | 106 |
| (4) 印通寺－呼子航路 .....   | 116 |
| (5) 仁位－樽ヶ浜航路 .....   | 127 |
| <br>                 |     |
| 第V章 空路利用者調査 .....    | 135 |
| 1. 調査概要 .....        | 137 |
| 2. 利用者の性別等 .....     | 138 |
| 3. 空路別利用状況 .....     | 139 |
| (1) 福岡－対馬空路 .....    | 139 |
| (2) 長崎－対馬空路 .....    | 144 |
| (3) 福岡－壱岐空路 .....    | 147 |
| <br>                 |     |
| 第VI章 航路貨物流動調査 .....  | 153 |

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| 1. 調査概要 .....                   | 155 |
| 2. 一般内航船による貨物流動状況 .....         | 157 |
| 3. フェリー・内航RORO船による貨物流動状況 .....  | 166 |
| 第Ⅶ章 類似離島における航（空）路サービス等の比較 ..... | 175 |
| 第Ⅳ章 今後の課題 .....                 | 181 |
| 参考資料（調査票）.....                  | 187 |

詳細は当センターへお問合せ下さい

(財)九州運輸振興センター

電話 : 092-451-0469

e-mail : [info@kyushu-transport.or.jp](mailto:info@kyushu-transport.or.jp)